

台車「平威の大修理」へ

白山市美川地区のおかえり祭りでは街中を練り歩く美川中町の台車だいぐるまが、十年に一度巡ってくる「おかえり筋」にあたる来年に向け、七十二年ぶりに大修理される。車輪三基は約二百年前の建造以来初めて新調する。四日までに美川浜町の収納庫で台車が解体され、関係者は一年後の仕上がりに期待を寄せている。

白山のおかえり祭り

毎年五月に開催されるおかえり祭りでは、各町などが所有する十三台の台車が神輿を先導する。台車は漆や金箔、蒔絵など美川仏壇の粋を集めた「動く文化財」ともいわれ、北前船で栄えた港町の面影を伝えている。

大きく、文化文政年間（一八〇四―一八二九年）に建造、一九一〇（明治四十三）年に屋根部分を増築したと伝えられている。同町は二、三十年に一度、金箔を張り直すなどの補修を行っていたが、解体は三五（昭和十）年以來という。

車輪は建造時から使用され、痛みが特に激しい。進行方向右の大車輪は外側に大きく反っているほか、ほかの車輪にもひびや欠けている部分があることから、三つ同時に交換する。

同町は前回のおかえり筋にあたった九年前から費用を町内会で積み立てている。修理を担当する北島仏壇店は、昨年からは車輪となる国産の松やケヤキ材を調達するなど準備を進めてきた。台車は引き手のゆがみの修正や漆の塗り直しなどを施し、来年四月に完成予定という。

美川中町の米田俊雄西

美川中町

200年ぶり 車輪新調



修理のため解体された美川中町の台車

白山市美川浜町

ワイド石川

沢商と南京旅游職業学院

観光教育で協定調印

沢商高の坂尻忠秀 年度にツーリズムコースが四日、観光に関する施設として、今後は教職員や生徒の相互訪問などで双方の観光教育を充実させる。調印式で坂尻校長は「両校の交流と相互理解を深めたい」と話した。同高は昨

いざ本祭へ士気高

The日本海 & 北國新聞

最終練習

OSAKOIソーでは初めてとなる三年谷日本海組織委員会 連続ファイナル進出年、援チーム「The 海&北國新聞」は、グラウンドには仕事や学校帰りのメンバーが続々と集まり、パレード会場に見立てたトラックで練り返し動き、金沢市西南部中グランドで最終練習を完了した。チーム代表は、北海道外勢として、表で同組織委員会の桶